

10/21
 (水)

珠玉のピアノ四重奏



北神区民センター

会場：ありまホール

開演：14:00 (開場：13:30)

ピアノ四重奏団
 アンサンブル・ラロ

神戸国際芸術祭としては、初めてベートーヴェンの作品を取り上げます。「ピアノと管楽のための五重奏曲」として作曲した作品を、ベートーヴェン本人が「ピアノ四重奏曲」に編曲しました。「楽聖」のピアノ四重奏の曲は少なく、その意味でも貴重な1曲です。シューマンのピアノ四重奏曲は、アンサンブル・ラロが十八番とする作品。世界中で演奏し、高い評価を得てきました。神戸国際芸術祭10周年を記念して、5年ぶりの再演です。お聞き逃しなく！

- L.v. ベートーヴェン ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.16
- R. シューマン ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47

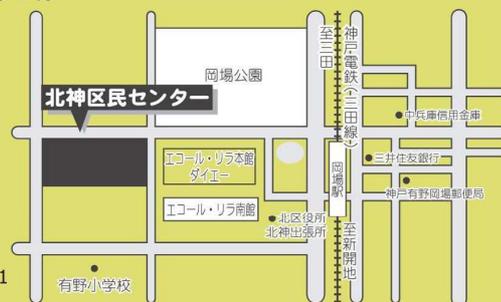
- ・料金 一般 2,000 (前売 1,500) 円
 学生 1,500 (前売 1,000) 円
 ペアチケット 2,000 円 (前売のみ)
- ・席種 自由席

※チケットの販売場所は最終頁に記載
 ※託児サービス付公演です
 先着 15 名・2 週間前までに北神区民センターにお申し込みください

問い合わせ：公益財団法人 神戸市民文化振興財団 北神区民センター
 〒651-1302神戸市北区藤原台中町1-3-1
 TEL: 078-987-3400 / FAX: 078-987-3444
 E-mail: kobemusicfestival@kobe-bunka.jp
 HP: http://kobemusicfestival.net

Access <北神区民センター・ありまホール>

●神戸電鉄三田線「岡場」駅
 より徒歩5分



〒651-1302
 神戸市北区藤原台中町1-3-1
 TEL: 078-987-3400

東欧とドイツの浪漫

10/23
 (金)



ピアノ四重奏団 アンサンブル・ラロ & 川田知子

舞子ピラ神戸

会場：あじさいホール

開演：19：00 (開場：18：30)

モーツァルトの再来とも言われたルーマニアの作曲家・エネスクの管弦楽作品「ルーマニア狂詩曲」をピアノ四重奏団（本邦初演）で演奏します。ピアノ五重奏は、ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロのピアノ四重奏にヴァイオリンを加えた形態で、更なる音の深みと迫力が体感できます。神戸国際芸術祭で10年かけて熟成されたアンサンブル・ラロ & 川田知子のピアノ五重奏を、ぜひお楽しみください。

- E. ドホナーニ ピアノ五重奏曲 第2番 変ホ短調 op.26
- G. エネスク ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 op.11/1 (ピアノ四重奏版)
- R. シューマン ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

<神戸国際芸術祭 10周年記念 特別料金>

- ・料金 一般 2,500 (前売 2,000) 円
 学生 1,500 (前売 1,000) 円
 ペアチケット 3,000 円 (前売のみ)

・席種 自由席

※チケットの販売場所は最終頁に記載

問い合わせ：公益財団法人 神戸市民文化振興財団
 〒650-0017 神戸市中央区楠町4-2-2 神戸文化ホール内
 TEL:078-351-3597/FAX:078-351-3121
 E-mail:kobemusicfestival@kobe-bunka.jp
 HP:http://kobemusicfestival.net

Access

●JR「舞子」駅
 山陽電鉄「舞子公園」駅
 より徒歩8分

<舞子ピラ神戸・あじさいホール>



〒655-0047
 神戸市垂水区東舞子町18-11
 電話：078-706-3711



神戸市室内合奏団

おもう存分♪室内楽

10/24
(土)

うはらの郷コンサート

あなたに贈る
コンサート



Kobe Music Festival 10th Anniversary
10月21・23・24日
神戸国際芸術祭2015



神戸市室内合奏団

& アンサンブル・ラロ



東灘区民センター

会場：うはらホール

開演：14：00（開場：13：30）

神戸市室内合奏団とピアノ四重奏団アンサンブル・ラロとの久しぶりの共演をお楽しみいただきます。2006年と2007年に共演した彼らが、約10年の時を経てそれぞれに研鑽を積み、再び同じステージで出会います。弦楽合奏、ピアノ四重奏、弦楽八重奏など室内楽曲の編成は様々。このコンサートではその室内楽曲の魅力を「おもう存分」ご堪能ください。

■W.A. モーツァルト

ディヴェルティメント 二長調 KV136 (125^a) (神戸市室内合奏団)

■J. ブラームス

ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 op.25 (アンサンブル・ラロ)

■D.D. ショスタコーヴィチ

弦楽八重奏のための2つの小品 op.11 (神戸市室内合奏団&アンサンブル・ラロ)

■P.I. チャイコフスキー

弦楽セレナーデ 八長調 op.48 (神戸市室内合奏団&アンサンブル・ラロ)

・料金 一般・学生共 1,500 (前売 1,300) 円

・席種 自由席

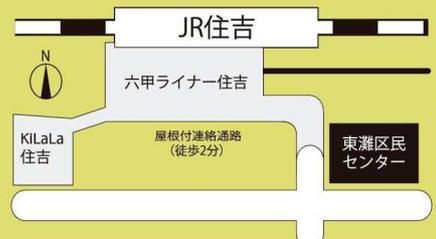
※チケットの販売場所は最終頁に記載

※「神戸音楽友の会」会員の方は、無料でご鑑賞いただけます

問い合わせ：公益財団法人 神戸市演奏協会
〒650-0016 神戸市中央区橘通3丁目4番3号
TEL:078-361-7241/FAX:078-361-7182
HP:http://www.kobe-ensou.jp/

Access <東灘区民センター・うはらホール>

●JR神戸線「住吉」駅
六甲ライナー「住吉」駅
より徒歩2分



〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町5丁目1-1
TEL: 078-822-8333

Profile



神戸市室内合奏団



1981年、神戸市によって設立された神戸市室内合奏団は、実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、神戸、大阪、東京などを中心に、質の高いアンサンブル活動を30数年に亘って展開している。弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発で、バロックから近現代までの幅広い演奏レパートリーのほか、埋もれた興味深い作品も意欲的に取り上げてきた。また定期演奏会以外にもクラシック音楽普及のための様々な公演活動を精力的に行っている。

1998年、巨匠故ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎えてからの14年間で、演奏能力並びに芸術的水準は飛躍的な発展を遂げ、日本を代表する室内合奏団へと成長した。毎年のシーズンプログラムは充実した内容の魅力あふれる選曲で各方面からの注目を集め、説得力ある演奏は高い評価を受けている。

内外の第一線で活躍するソリストたちとの共演も多く、2011年3月の定期演奏会でのボッセ指揮による「J.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲全6曲」の名演はCDとしてリリースされている。また、2011年9月にはドイツのヴェストファーレンクラシックスからの招聘を受けてドイツ公演を行い、大成功を収めている。2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引する岡山潔が音楽監督に就任し、ボッセ前音楽監督の高い理念を引き継ぎ、合奏団のさらなる音楽的発展を目指して、新たな活動を展開している。



川田 知子 (ヴァイオリン)

東京都出身。東京藝術大学を首席卒業。1991年「第5回シュブア国際コンクール」(独)優勝。NHK交響楽団など国内外のオーケストラにソリストとして共演している。2002年には札幌及びトッパンホールでイザイの無伴奏ソナタ全6曲を演奏し絶賛される。室内楽の活動にも積極的で、神戸国際芸術祭には第1回目の2006年より毎年出演。Ensemble RAROとのアンサンブルにも円熟味を増してきた。

【チケット販売場所】

- ・神戸文化ホールプレイガイド **TEL:078-351-3349**
- ・ローソンチケット **TEL:0570-084-005**
(Lコード 21日:52736,23日:52749,24日:52618)
- ・北神区民センター(21日分のみ) **TEL:078-987-3400**
- ・舞子ピラ神戸フロント(23日分のみ) **TEL:078-706-3711**
- ・東灘区民センター(24日分のみ) **TEL:078-822-8333**
- ・神戸市演奏協会の事務局及び主催公演の受付でも扱っています。
- ・メールでのお申し込み:タイトルを「神戸国際芸術祭2015チケット申込」とし、ご希望の「公演日」・「券種」・「枚数」のほか、お名前、ご住所、お電話番号を明記のうえ下記アドレスにお申し込みください。
kobemusicfestival@kobe-bunka.jp

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
※やむを得ず、出演者、プログラムが変更となる場合があります。



ピアノ四重奏団 アンサンブル・ラロ



2004年に結成。ヨーロッパにおける室内楽の豊かな伝統と、革新的なアプローチを結合することを目指している。アンサンブル・ラロの名前は、ロベルト・シューマンが音楽評論をする際に作り上げた架空の団体「タヴィッド同盟」の一員、ラロ博士に由来している。結成以来、ヨーロッパ各地の音楽祭を中心に活躍し、大成功を収めている。中でもバイエルン・ラジオにより収録された演奏はNHKほか、世界各地で放送された。2009、2014年にはウィーン・コンツェルトハウス、2010年にカーネギーホール等にも招聘され、高い評価を得ている。

これまでに『Songs and Dances of Life』(2007)、『Canti Drammatici』(2008)、『Anotimpurile - The Seasons』(2009)、『Love Songs』(2012)、『DOHNANYI DVORAK SUK』(2013)の5枚のCDがリリースされている。

ダイアナ・ケトラー (ピアノ)

ラトヴィア・リガ出身。モーツァルトウム音楽院、ロンドン・ロイヤル・アカデミーを最優秀で卒業し、2003年には同アカデミー最高名誉賞を受賞。2004年よりキムガウ音楽祭(独)の芸術監督を務めるほか、榎本大進、川島成道ら日本人演奏家との共演も多い。2008年にはラトヴィア政府から功績を称えられて表彰を受ける。現在ロンドン・ロイヤル・アカデミー教授。

アレクサンダー・シトコヴェツキー (ヴァイオリン)

ロシア・モスクワ出身。メニューインに見出され8歳でソロ・デビュー。メニューイン音楽院、ロンドン・ロイヤル・アカデミーで学ぶ。ソリストとして世界のオーケストラで活躍する他、室内楽演奏では2011年「プレミオ・トリオ・ディ・トリエステ国際室内楽コンクール」(伊)優勝、同年シトコヴェツキー・トリオを結成。赤穂国際音楽祭にも2度出演している。英国在住。

ラズヴァン・ポボヴィッチ (ヴィオラ)

ルーマニア・ブカレスト出身。モーツァルトウム音楽院でペーター・ランガートナーに師事。2004年よりキムガウ音楽祭(独)の総合監督、2006年よりブカレストSoNoRo音楽祭の芸術監督を務め、榎本大進やアリーナ・ボゴストキーナら世界で活躍する演奏家を招聘している。マスタークラスでの指導力にも優れ、多くの演奏家から厚い信頼を得ている。ドイツ在住。

ヘーデンボルク・直樹 (チェロ)

オーストリア・ザルツブルク出身。12歳でモーツァルトウム管弦楽団との共演でソロ・デビュー。ハインリッヒ・シフの下で研鑽を積む。1993年「若い音楽家のための国際チェロコンクール」(伊)優勝。2007年にはアイゼナハ歌劇場(独)のソリスト・イン・レジデンスを務める。2010年よりウィーン国立歌劇場管弦楽団、2014年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で正式団員として活躍。2006年より神戸国際芸術祭の音楽顧問を務める。

<神戸国際芸術祭とは>

ヘーデンボルク・直樹を音楽顧問に、2006年から開催。ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロを中心に、国内外の第一線で活躍する音楽家たちが、ヘーデンボルク・直樹の呼びかけに応じ、神戸に集結。思わず引き込まれてしまう本当にいい音楽を、身近に楽しんでもらえるよう、大学や市民ボランティアも一体になって、取り組んでいる。

【主催】神戸国際芸術祭実行委員会

- (公財)神戸市演奏協会
- (公財)神戸市民文化振興財団 北神区民センター

【協力】神戸大学大学院 国際文化学研究推進センター

神戸大アートマネジメント研究会

【後援】アート・サポート・センター神戸

- NPO法人国際チェロ・アンサンブル協会
- 大阪ドイツ文化センター

【事務局】(公財)神戸市民文化振興財団 (TEL:078-351-3597)

